

# 特集1 令和3年度 第1回地区別懇談会Q&A

11月10日(水)から15日(月)にかけて、全12地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および参事、各室・部長が2班に分かれて出席し、令和3年度の仮決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

## 経営企画部門

**Q** 金融店舗の営業時間が15時までとなりましたが、16時に戻る事はないのですか。せめて夏季の繁忙期だけでも16時までの営業時間にしていただくとありがたい。

(白石・豊平地区)

**A** 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1時間の営業時間短縮を導入してから1年

半が経過しております。営業時間を1時間繰り上げる事により、業務の効率化や職員の労働環境の改善へつながる効果もあると考えておりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

**Q** PCネットワーク回線を移行するとなつていますが、NTT回線はやめるという事ですか。

(新琴似地区)

**A** 本支店間のPCネットワーク回線を、NTT回線からJANET回線に移行します。移行による効果として年間費用も削減となります。

## 総務部門

**Q** 店舗統廃合後の施設の跡利用について、子会社と協議

したなつていますが、どのような協議ですか。

(新琴似地区)

**A** 店舗統廃合後は、賃貸物件として活用するため、管理を任せる子会社と協議をしております。

**Q** 定期人事異動における適正人員配置の内容及びに役職定年

制度における若手職員の役職登用とありますが、どのような内容ですか。

(新琴似地区)

**A** 信用・共済業務等各職種で、その業務に精通している職員を配置しております。また、役職定年制度導入による空いたポストに上位職のレベルに達している若手職員を登用しております。

**Q** 経済部門では繁忙期と閑散期を考慮した勤務体系の導

入により、残業時間、超過勤務手当の削減等、労働環境の改善を図つたとありますが、その他に何が改善されましたか。

(新琴似地区)

**A** 超過勤務減少により労働環境も改善され、職員の有給休暇取得促進にもつながつたと考えております。

## 金融部門

**Q** コンビニのATM手数料が変更となり有料となりましたが、今後の手数料はどのようなようになりますか。

(手稲支店)

**A** 10月1日より、コンビニATMの手数料が有料となりましたが、同時にJABバンク優遇プログラムが導入され、正組合員の

皆さまは引き続き無料でご利用いただけます。現時点で、更なる変更は検討されておりません。

## 経済部門

**Q** 経済センターの合理化計画で、南経済センターはどうなるのですか。また、購買品の対応はどうなるのですか。

(南地区)

**A** 経済センターの合理化の概要は、昨年お配りした地区別懇談会資料に沿って準備を進めております。購買品については組合員の対応のみと考えておりますので、現在のように商品を陳列する予定はありません。当初はすべてを丘珠に集約する考えでしたが、地域性を考え各地域に緊急性の高いもの、梱包資材等を保管する事を考えております。まだ未確定の部分も多く、詳細が決まり次第ご報告させていただきます。

**Q** 鹿対策について、JAとしてどう考えていますか。

(豊平地区)

**Q** 鹿の駆除について、ボランティアに依頼しています。地方では駆除したら報酬が出ています。札幌市も報酬をもらえると言いましたが、JAと市で協議できないのですか。

(南地区)

**A** 鹿の駆除については、対策を実施しておりますが、追いついていないのが実情です。現在、札幌市とJAで従来と違った駆除の方法を協議しており、対策が決まり次第お知らせいたします。

## 合併推進準備委員会関連

**Q** 合併推進準備委員会は、合併ありきで設置したものですか。

(琴似地区)

**A** 合併ありきではなく、合併の妥当性を検討するための

委員会です。委員会の中に各部署で構成する作業部会を立ち上げてメリットやデメリットなどについて検討してまいります。

**Q** 農産物の集荷体制やシステムについて、合併した場合の新たな体制構築や準備にかかる費用について試算していますか。

(琴似地区)

**A** 合併後のシステム等の費用の試算はこれからとなります。

**Q** 合併に期限はないとの事ですが、用途はいつ頃を想定していますか。

(南地区)

**A** 合併の目標年は定めておりません。

**Q** 日本銀行の特別当座預金制度の助成を受けるための合併ではないですか。

(琴似・篠路・厚別・南地区)

**A** 日本銀行の特別当座預金制度の支援措置については、

当初、地方銀行に対してのみの支援策として公表されておりましたが、後に北海道信連からJAも同制度の対象となるとの通知をいただいております。今回の合併に関する事業連携、経営強化の話については、それ以前から協議しているものであり、日本銀行の支援措置があるから合併を進めるといふ事ではありません。



△平岸地区



△中央地区

**Q** J A いしかりの地区で生産し、J A いしかりに出荷しています。合併したら何か影響はありますか。

(琴似地区)

**A** 合併する事になったとしても、基本的に現状の精算や集荷の形態は変わらないと思います。石狩市にある米麦乾燥調製施設や野菜集出荷施設についても、そのまま活用する事になると思います。

**Q** J A いしかりの米麦乾燥調製施設が老朽化しているようですが、施設の更新等についても協議されるのですか。

(琴似・新琴似地区)

**A** 施設の更新等については今後の協議事項になります。J A いしかりでは、米麦乾燥調製施設を増設する計画を立てているようです。

**Q** 今後の検討次第で合併構想がなくなる事もあり得るのですか。

(琴似・手稲・南地区)

**A** 合併については、それぞれのJ A の総(代)会にて3分の2以上の賛成をいただかなければなりません。どちらかのJ A の賛成だけでは合併できません。今後の協議のなかで、組合員の皆さまからの合意を得ながら進めてまいりたいと考えており、組合員の皆さまが合併に反対となれば、合併しない選択もあります。

**Q** 合併について、信用・共済事業に依存するのではなく、経済事業を改善する事が目的ですか。

(篠路地区)

**A** 現在は、金融・共済部門が収益を上げていますが、経済部門の収支を改善するためにも、今回の合併協議は良い機会であると捉えております。

**Q** 今回の合併は、札幌市と石狩市の2つの行政に跨る中の合併となりますが、何か問題が生じませんか。

(篠路・手稲地区)

**A** 本件は、J A 北海道中央会がオブザーバーとして各会議の場に参加しています。行政を跨いで合併に関しては、各農業委員会の許認可等の相違など、懸念材料をJ A 北海道中央会とも相談の上、今後の協議の中で検討してまいります。

**Q** 資料にはメリットばかり記載していますが、合併した場合の効果・メリットばかりではなく、当J A におけるデメリットを教えてください。

(琴似・白石・西町・新琴似地区)

**A** 資料には、現状で想定している事を記載しており、今後の協議の中で実現可能かどうか検証していく事になります。現段階では、大きな懸念事項はないものと判断しておりますが、課題が新たに出てくる事も想定しております。デメリットが出てくるようであれば、組合員の皆さまにお示ししながら協議を進めていきたいと考えております。

**Q** 経営体質の違うJ A が合併したら、自己資本比率は下がるのではないのでしょうか。

(西町・厚別地区)

**A** 自己資本比率については、合併により0.5%程度の上昇を見込んでおります。また需要





△白石地区

が期待される住宅ローン等の貸付金量の増加や、経済事業全体の伸長が見込まれますが、あくまで今後の調査や協議が必要となります。

**Q** 合併について救済的な要素があるのですか。また、合併後に支店等の施設の閉鎖は考えているのですか。

(厚別地区)

**A** 合併した後に施設をどうするかは、これからの協議と

なります。そのために、合併推進準備委員会を設立したという事であります。また、合併については互いの経営強化や事業連携についての意見交換からのものであり、救済や行政からの要請といったものではありません。

**Q** 合併により担い手対策が期待されるとありますが、具体的にどういう事ですか。

(厚別地区)

**A** これまでは宮農されている組合員の後押しには取り組んできましたが、新規就農者に対する取り組みが十分ではありませんでした。合併により行政を交えた効果的な取り組みができるものと考えております。

**Q** 両JAの正組合員の平均年齢はどうなっていますか。

(厚別地区)

**A** 当JAの正組合員の平均年齢は、令和3年3月末で約

75歳に対し、JAいしかりの平均年齢は約71歳となっています(令和3年1月末)。

**Q** 合併の賛否については、組合員の所得向上などに繋がることが重要であると考えます。スケールメリットだけではなく、組合員に対するメリットをこれから示して欲しい。

(手稲地区)

**A** 貴重なご意見をありがとうございます。今後の協議の中で十分に話し合い、検討していきたいと思っております。

**Q** JAいしかりの経済事業は黒字であり、合併後も経済事業が黒字になるのであれば、店舗統廃合や経済センターの合理化計画は必要ないのではないですか。

(南地区)

**A** 当組合の経済事業は、行政検査においても収支改善するよう指導を受けております。JA

いしかりとの合併を想定した場合、収支は若干改善されると思います。ただ、経営方法等については、まだ何も協議をしていないため、今後の協議経過については、このような場で組合員の皆さまへ説明してまいりたいと思っております。

**Q** 経済事業について、JAいしかりの方が当JAより上回っている要因は何ですか。

(南地区)

**A** 大きな要因は、作付面積、経営面積の違いが大きく、JAいしかりには大規模経営者が多くと聞いております。

**Q** 過去の合併JAは、合併して実績が上がったのですか。

(南地区)

**A** 合併JAが良くなっているかまでの情報は確認しておりませんが、合併当時と現在とでは

経営環境が大きく変わっており、当時の5JAのままでは立ちいかなかったと認識しております。

**Q**

合併して組合員サービスの充実を図るとあるが、合併したら経済センターの合理化前のように経済事業は充実されるのですか。

(南地区)

**A**

合併する事によって組合員サービスが改善される可能性はございます。ただし、合併は合併として、合理化は合理化として考えなければなりません。JAいしかりと合併する事によって、当JAにはないJAいしかり独自の販路を活用するとか、米麦施設の共同利用、大規模な直売所での販売等が考えられます。今後、どれだけ良い効果を引き出せるかを協議してまいりたいと思います。

**Q**

南地区の果物は観光農業化し、お客様に来てもらって

販売しています。果物をいしかりの施設に持って行くのは現実的ではないと思います。また、南地区は野菜

が主であり、若い生産者も出てきています。まずは生産量の確立を進めて欲しい。

(南地区)

**A**

貴重な意見として承ります。

**Q**

合理化や合併でJAの規模を大きくしていくのは、JAの経営的には良いのかもしれませんが、今後、生産者の高齢化、後継者不足による地域農業が衰退していく事が問題であり、地域農業を活性化することや地域農業振興に取り組む、きめ細かい組合員サービスをしてほしいと思います。

(南地区)

**A**

札幌市にも色々な農業振興計画があり、経営形態でも大規模経営もあれば、家族農業経営が主である組合員もいらっしゃると思います。後継者、担い手不足、新規就農

者がいないといった問題についても行政では力を入れて取り組んでは

いる状態であると思っております。JAいしかりも同じような問題を抱えており、そのために基盤強化が必要との認識です。組合員皆さまが生きがいを持ち農業ができるようにする取り組みは農業協同組合として必要な事であり、共に協議をして良い結果を出したいと考えております。

(豊平地区)

**Q**

農業関連の合併メリットとシステムの効率化を要望します。

コストやシステムの部分で効率化を図っていかねければならないと考えております。各JAでやり方は違うので、システムの統一化はしていかねければならず、十分に協議してまいります。

**Q**

JAいしかりでは、現在賦課金を徴収していますが、

(豊平地区)

**A**

賦課金は、営農指導に関わる一部の費用を組合員が負担するもので、毎年の総会決議で負担額が決定されます。

その内容について説明して欲しい。

(新琴似地区)

**A**

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。



△西町地区